

東京大学 地震研究所 特定共同研究 (B)

『地震波の散乱と減衰』

シンポジウム



1月16日(木) プログラム

- 13:00 開会挨拶 : 佐藤春夫 (東北大)
- 13:05 ~ 時間領域BIEMによる2D亀裂問題定式化で現れる発散積分の有限部分評価による統一的解釈  
: 亀 伸樹・山下輝夫 (東大震研)
- 13:30 ~ 3次元体内クラックによる散乱と弾性散乱断面積 : 北原道広(東海大)
- 13:55 ~ 複雑系の解析の可能性 — 高速多重極境界要素法 — : 福井卓雄(福井大)
- 14:20 ~ 物理モデルによる波動3成分検出実験とその意義  
: 西澤 修・佐藤隆司 (地質調査所)・雷 興林 (株・ダイヤコンサルタント)
- 14:45 ~ 休憩
- 15:05 ~ Visco - elastic response of joints to transmission waves  
: 吉岡直人 (横浜市大)・菊地正幸 (東大震研)
- 15:30 ~ 不均質性が集中した媒質での散乱様式  
: 蓬田 清 (広島大)・R. Benites (ニュージーランド)
- 15:55 ~ 異方性不均質媒質中における弾性波の散乱 : 吉本和生 (東北大)
- 16:20 ~ 前震群と他の地震群の統計的識別 : 尾形良彦 (統数研)
- 16:45 終了
- 17:30 ~ 懇親会

# 1月17日（金）プログラム

- 09:30 ~ Energy trapを考慮したRadiative Transfer Theory  
： 佐藤春夫・早川俊彦（東北大）
- 09:55 ~ エネルギー輸送理論に基づく高周波地震動エンベロープのモデル - 非球対称輻射・多重非等方散乱過程の定式化 : 渡辺和俊（弘前大）・佐藤春夫・大竹政和（東北大）
- 10:20 ~ エンベロープ・インバージョンによる1995年兵庫県南部地震の高周波数震源過程の推定  
： 中原恒・佐藤春夫・西村太志・大竹政和（東北大）
- 10:45 ~ 休憩
- 10:55 ~ コーダ波エンベロープにみられるリップルの起源の検討 : 小菅正裕（弘前大）
- 11:20 ~ 地殻浅部の散乱と減衰構造—和歌山市直下の地震 : 松波孝治（京大防災研）
- 11:45 ~ 微小地震を用いたコーダ $Q_c - 1$ の地球潮汐応答(2) — 長野県王滝村地域 —  
： 鶴岡 弘（学術情報センター）
- 12:10 ~ 昼食
- 13:30 ~ 後方散乱現象を応用した霧島火山群人工地震探査記録の解析 : 三ヶ田 均（東大 震研）
- 13:55 ~ 爆破地震動データのエンベロープ・インバージョンにより推定されるバレス・カルデラ周辺の不均質構造 : 西村太志（東北大）, マイク・フェーラー（ロスアラモス国立研究所）
- 14:20 ~ 下部地殻における地震波の散乱 : 小原一成（防災科研）
- 14:45 ~ 休憩
- 14:55 ~ 兵庫県南部地震震源域の地殻内不均質構造 - 稠密テレメータおよび分散型アレイデータの解析 - : 西上 欽也（京大防災研）
- 15:20 ~ 淡路島北部で見られる低周波S波の特徴 : 桑原保人（地質調査所）
- 15:45 ~ アレイ観測データにもとづく地殻内不均質の検出 : 松本 聡（秋田大）
- 16:10 閉会挨拶 : 山下輝夫（東大震研）